

観世音菩薩御和讃

作詞 赤松月船
作曲 遠藤実

♩ = 52 位 敬虔に明るく

(頭) (衆)

1. お じ—ひ の—ま—な こ あ—た—た か—く—

2. こ—ろ の—や—み は(ワ) く—ら—く し—て—

3. め—ぐ—み の—や—か に— つ—つ—ま れ—て—

ま—ど—か—に—ち え—は(ワ) み—ち—わ—た—る

ま—う—よ—れ い—は(ワ)—ま—ま こ—と—る ふ—か—き—け—れ—ど—に

こ—の—よ の—は は—の お—ん—す が—た—

ふ—か—き—が—ゆ え—の お—ん—ち—か—い—

な—む—や—だ—い—ひ の—か—ん—ぜ お—ん

2. } な—む—や—だ—い—ひ の—か—ん—ぜ お—ん

3. }

鉦 (右手)
鈴 (左手)

かんぜおんぼさつごわさん
観世音菩薩御和讃

(一) お慈悲の眼あたたかく

まどかに智恵は満ちわたる

この世の母のおん姿

南無や大悲の観世音

(二) 心の闇はくらくして

迷いはまこと深けれど

深きがゆえのおん誓い

南無や大悲の観世音

(三) めぐみのなかにつまれて

うれしさあまるおきふしに

何をばおもいわずらわん

南無や大悲の観世音